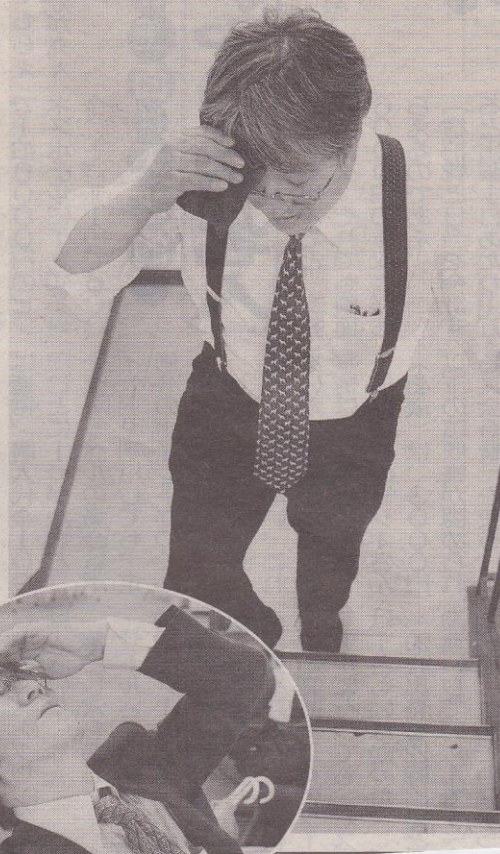


# 持病で急死する前兆

## 死に直結するサインを見逃すな

持病はいつも安定した状態で推移するとは限らない。急激に悪化して、たちまち急死してしまうこともあるのだ。そんな目に遭いたくなければ、その「前兆」に素早く気づき、手を打つ必要がある。どんな前兆が出てきたらヤバイのか。専門医に持病別に聞いた。



### 狭心症

- 運動時だけに起こって、いた胸痛が安静時にも起こるようになり、頻度も増えてきた
- 急いで歩くと息切れしやすくなった
- 時々強い動悸を感じる
- 脈が速くなったり遅くなったりしてふらつきとがある

「これらの症状が重なって起きてきたら、狭心症が、心筋梗塞の一手手前である不安定狭心症に移ると脈が速くなり、冷や汗

狭心症が起ってきたら、急いで病院を受診し、入院して治療を受ける必要があるです」(九段クリニック・阿部博幸理事)

狭心症が起ってきたら、拍が起ってきた可能性が大。救急車を呼んで病院に行き、心筋に電気ショックを与える電気的除細動を受けねばなりません」(阿部理事)

### 不整脈(期外収縮)

- 突然トツ、トツ、トツ
- 慢性すい炎
- 暴飲暴食の後、急にみ

## すぐ手を打つために素早く気づくことが重要

ぞおちから背中にかけて激痛が走り、下痢も起ってきた

「慢性すい炎が急激に悪化して、急性すい炎を起した状態です。急性すい炎はすい臓の酵素がすい臓自体を、自己消化してしまう病気。炎症がひどくなるとすい臓の細胞が壊死に陥ると、重症急性すい炎で死に至ることがあります」(井上外上院長)



### アルコール性脂肪肝

- 取引先との会合で連日ハシゴ酒。急に体がだるくなりトイレに行くと、
- 取引先との会合で連日ハシゴ酒。急に体がだるくなりトイレに行くと、

科胃腸科病院・井上毅一院長

### 心房細動

「急に胸が苦しくなってきたり、動悸がし、しゃべり方がおかしくなってきたら、血圧が上がる脳動脈瘤が破裂寸前になっているサインで、物がダブって見えるのを起しつつある状態と考えられます。至急脳外科で治療を受けないと命が危ぶまれます」(くどろちあき脳神経外科クリニック・工藤千秋院長)

### 脳動脈瘤

- 物が二重にダブって見え出した
- 急に吐き気がし、薬を飲んででも良くならない頭痛がする
- 急に声がかすれてしゃべりづらくなり、物もの

み込みにくくなった

「脳ドックなどで脳動脈瘤があると指摘されている人に、これらの症状が起ってきたら、血圧が上がる脳動脈瘤が破裂寸前になっているサインで、物がダブって見えるのを起しつつある状態と考えられます。至急脳外科で治療を受けないと命が危ぶまれます」(くどろちあき脳神経外科クリニック・工藤千秋院長)

放置すると動脈瘤が破裂して突然死の危険が高まる。すぐ脳神経外科へ。

持病と上手に付き合うには、こういうことも知っていなければならないのだ。